

3月議会審議情報

市民体育館改修工事は9億8,496万円 競争が薄れ落札額が高止まり



改修工事が行われる沼田市民体育館

2020年東京オリンピックに向けドイツフェンシングチームの事前合宿所として利用できるよう市民体育館の改修工事をしますが、その工事の入札が3月1

日に実施され、沼田・金子沼田市民体育館改修工事特定建設工事共同企業体（注：沼田は沼田資源（株）岩本町、金子は金子建設（株）利根町）の1企業体のみが入札し、9億1,200万円（税抜き）で落札しました。

（請負金額は、消費税込みで9億8,496万円）落札率は、99%でした。昨年行われたテラス沼田の改修建築工事入札も参加が1企業体のみで落札率99%でした。入札は、条件付き一般競争入札で行われ、条件は沼田市内に本社・営業所を置く建築工事Aランク（市内には8社しかない）の企業が共同企業体を組んで入札すること、となっており、大震災の復興事業や東京オリンピックに向けた建設ラッシュで職人不足や資材高騰の影響があるなか、本市でも市役所が移転するテラス沼田、新給食センター、新武道館、利南運動広場などの大型工事が続く状況で、企業自体の対応も簡単ではないと思われま

す。井之川博幸議員は、当局の説明が行われた総務文教委員協議会で、「地域の条件などを広げて入札対応企業数を増やし、競争が適正に行われるようすること」を求めました。

総務部長は、「共同企業体が組める条件のあるBランクの上部の企業を加える方向で検討している」と答えました。

副市長は五十嵐靖男氏を選任

群馬県から出向で副市長に就任していた五十嵐靖男副市長は、3月31日付けで県職員を退職し、3月議会で改めて選任されました。

新年度事業情報

変則的な（旧国立前）交差点が解消されます



環状線（左に旧国立病院、正面は介護支援施設）はここまでで、左端の道に入る

環状線の工事の遅れに伴って（旧国立）沼田病院前の交差点が変則で危険な状態が続いていました。これを解消するために狭い道路のままになっていた交差点西側を環状線と同じ幅に広げ、交差点への進入や通過を改善します。本年度事業費7,880万円。

本市の特産品を通販や海外市場へ

本市の特産品や優れた商品等の海外販路開拓を目的とした推進協議会の発足及び同会の活動等を支援するとともに、インターネット通販サイト等、海外市場への販路開拓の調査研究を推進します。本年度事業費150万円。

年金制度の改正を求める2請願とも趣旨採択



全日本年金者組合群馬県本部（田村照代執行委員長）と利根支部（林マツ支部長）から3月沼田市議会に提出されていた「全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願」及び「年金支給を毎月支給に改める請願」は、付託されていた民生福祉常任委員会での両請願とも「趣旨採択」という審査結果を3月19

日の本会議で委員長の報告を受け、全会一致で「趣旨採択」を承認しました。

2018年4月8日 No.875

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料